

6)岡山県立大学との交流

【現況と課題】

本市には、情報工学部、デザイン学部、保健福祉学部の3学部から構成される岡山県立大学があり、約1,850人の学生が通学し、本市の文化や経済の活性化に寄与しています。

現在、本市では、高度情報化、地域福祉などの課題についての懇談会などに、岡山県立大学の教員を講師や委員として招へいしたり、卒業にあたり優秀な学生に対しては、市長賞を授与しています。また、保健福祉学部では、市内の保健福祉施設などで学生の実習やボランティア体験など大学と民間との間での交流が深まっています。

今後とも市民、企業、行政等のさまざまなレベルにおいて大学との交流や連携活動を積極的に展開するとともに、卒業先の就職機会の拡充、学生生活の充実等を図り、地域産業の振興、行政サービスの充実などに大学と共同して取り組んでいく必要があります。

■県立大学生の市内居住者数

区分	居住者数(人)
平成13年度	1,005
平成14年度	989
平成15年度	949
平成16年度	937
平成17年度	948

資料：岡山県立大学

■行政と県立大学との交流状況

区分	交流件数(件)
平成13年度	32
平成14年度	30
平成15年度	37
平成16年度	120
平成17年度	148

資料：総務部企画課

【基本方針】

岡山県立大学と市民・企業・行政との交流・連携活動機会の拡充に努めます。

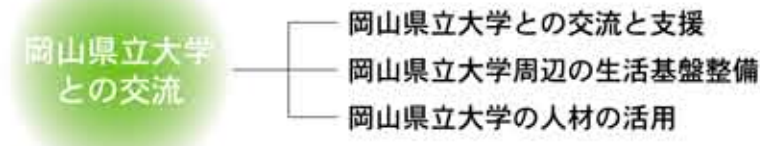
さまざまな分野で、大学との交流や連携活動を進めるため、岡山県立大学の人材を活用した審議会、交流会等の機会200件を目指します。

他市町村からやってきた大学生にとって、本市が第2のふるさとと感じることができるよう、生活しやすい環境づくりや市民との交流機会の拡充等に努め、岡山県立大学生の市内居住者数1,000人を目指します。

【協働に向け期待される役割】

市民	公開講座への参加など
NPO等	市民との交流機会の創出など
企業等	卒業生の雇用拡大、学生の実習受け入れなど
行政	岡山県立大学周辺の生活基盤整備、学生の実習受け入れ体制の整備など

【施策の体系】



【主要施策】

(1)岡山県立大学との交流と支援

- ①大学関係者、行政との定期連絡会議体制を確立し、定期的な協議を実施します。
- ②一般市民と学生との定期交流機会の創出、国際交流事業への学生の参加等について積極的に支援します。
- ③大学が行う公開講座等の情報を、広報紙やホームページなどで市民に広く提供し、積極的な参加を促します。
- ④学生への奨励賞の授与を継続実施するなど、学習意欲の向上を図ります。

(2)岡山県立大学周辺の生活基盤整備

- ①大学周辺の環境整備や通学環境の整備・充実等に努めて、学生・教職員のための生活利便性の向上や、散策路の整備など憩いの場の創出による快適環境づくりに努めます。
- ②通勤・通学の利便性の向上を図るため、JR等の関係機関と協議していきます。

(3)岡山県立大学の人材の活用

- ①保健福祉や生涯学習、産業振興や地域情報化等の分野を中心に、大学と市民・企業・行政のそれぞれが相互に実りのある交流連携事業や共同研究等の推進を図られるよう努めます。この一環として、平成17年に大学に配置された地域共同研究機構を活用し、研究交流の一層の促進を図ります。
- ②市内の保健・医療・福祉施設などの関係機関と連携して、学生の実習受け入れのための体制を整備するとともに、教職員及び学生の有する技能や知識を生かしたまちづくりへの参加を促します。
- ③学生の卒業後における雇用機会の拡充を、ハローワークなどの関係機関と連携して、地元企業等へ働きかけます。

